



IPN-W100CB

Windows Vista 版ソフトウェア

取扱説明書

第 1.00 版 2008 年 8 月 5 日

株式
会社 **トリニティーセキュリティーシステムズ**

ごあいさつ

この度は Ultra Secure Wireless LAN CB アダプタ IPN-W100CB をお買い求めいただきまして誠に有難うございます。

本マニュアルは、本製品を正しくお使いいただくための手引きとなっております。

本マニュアルをご覧いただき、本製品を正しくお使いくださいますよう、お願いいたします。

本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点、ご意見等ありましたら、弊社もしくは販売店にご連絡ください。

※ Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ その他記載された会社名、製品名などは、各社の登録商標もしくは商標または、弊社の商標です。

－ ご注意 －

- (1) 本書の内容を無断で記載、翻訳、複写その他の複製をすること、及びデータベース、磁気媒体、光ディスクなどへの入力には禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては予告なしに変更する場合があります。
- (3) 製品のデザイン、仕様は予告なく変更する場合があります。

改訂の履歴

ここでは、本書の改定の履歴を示します。

版数	日付	変更内容
1.00	2008 年 8 月 5 日	初版

本書について

ここでは、本書の対象読者、表現規則について説明します。

1 本書の対象読者

- IPN-W100CB に関係するすべてのユーザーとします。
- Windows 系オペレーションを理解できていることを前提とします。

2 本書について

- 本書は、IPN-W100CB Windows Vista 版ソフトウェアの取り扱いについて記述します。

3 本書の表記

□ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：[Ctrl]キー、[Enter]キー、[→]キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：[Ctrl]+[F3]キー、[Shift]+[↑]キーなど

□ ボタンの表記

本文中のボタンの表記は、[ボタンの名称]のように記述しています。

例：[変更]、[戻る]など

4 本書の表現規則

表現	説明
IPN	IPN は、Identified Private Network の略称です。IPN は高速認証暗号通信ソリューションで、弊社の技術です。
SAS-2	SAS(エスアイエス)は、Simple and Secure Password Authentication Protocol の略称で、弊社独自のワンタイムパスワード型認証方式の名称です。SAS-2 は、SAS Ver.2 を意味します。
STA	無線 LAN ステーション を意味します。
AP	無線 LAN アクセスポイント を意味します。
AES	アメリカ合衆国の新暗号規格(Advanced Encryption Standard)として規格化された共通鍵暗号方式です。2001 年 3 月に FIPS PUB 197 として公表されました。
IPN-WLAN	IPN-WLAN は、IPN for Wireless LAN プロトコル の略称です。弊社が提唱する SAS-2 による相互認証と AES による暗号通信を組み合わせた 802.11 用セキュリティプロトコルです。
Easy Config (EC)	STA から接続したい AP を選択し、AP 背面のプッシュボタンを押すことにより、AP と STA に認証情報が登録され、IPN-WLAN で接続されるモードです。
Secure Automatic Config (SAC)	AP に STA の MAC アドレスを登録後、STA から接続したい AP を選択するだけで、AP と STA に認証情報が登録され、AP と STA が IPN-WLAN で接続されるモードです。
IPN-W100 シリーズ	IPN-W100/120AP、IPN-W100CB、IPN-W108USB 等 IPN-WLAN を実装した弊社製 AP、STA と、そのミドルウェア、ドライバと関連するソフトウェアの総称を意味します。

目 次

第 1 章 概要	6
1. 1 IPN-W100CB Windows Vista 版ソフトウェアの概要	6
1. 2 IPN-WLAN の特徴	6
第 2 章 初期設定	7
2. 1 ネットワーク接続の初期設定	8
2. 2 IPN-WLAN 接続ウィザード画面	9
2. 2. 1 「Easy Config」 モードを使用して接続する方法	11
2. 2. 2 「Secure Automatic Config」 モードを使用して接続する方法	15
2. 2. 3 認証値を手動で入力する方法	19
2. 2. 4 IPN-WLAN 以外の接続方法選択	22
第 3 章 設定	23
3. 1 ワイヤレスネットワークのプロパティ画面の機能拡張	23
3. 1. 1 「セキュリティ」 タブの表示方法	23
3. 1. 2 「セキュリティ」 タブに関する機能拡張	26
3. 1. 3 IPN-WLAN 設定画面	27
3. 2 T-SS 認証値クリーンアップユーティリティ	29
付録 A 保守サポートについて	30
A.1 保守サポート窓口	30
A.1.1 サポート窓口連絡するときには	30
A.1.2 サポート窓口	30

第 1 章 概要

ここでは IPN-W100CB Windows Vista 版ソフトウェアの概要について解説します。

1. 1 IPN-W100CB Windows Vista版ソフトウェアの概要

IPN-W100CB Windows Vista 版ソフトウェアとは、IPN-WLAN 機能を Windows Vista 端末に適応するものです。

本製品により、IPN-WLAN プロトコルを実装した AP へのアクセスが可能です。

1. 2 IPN-WLANの特徴

弊社独自のネットワークセキュリティ技術で、IEEE802.11 プロトコル(以下 802.11)を独自に拡張し、ワンタイムパスワードによる相互認証プロトコル(SAS-2 認証)と AES 暗号化方式を組み合わせ実装した独自プロトコルが IPN for Wireless LAN プロトコル(以下、IPN-WLAN)です。

IPN-WLAN は、決められた相手だけと通信が出来る高セキュリティ環境を実現します。

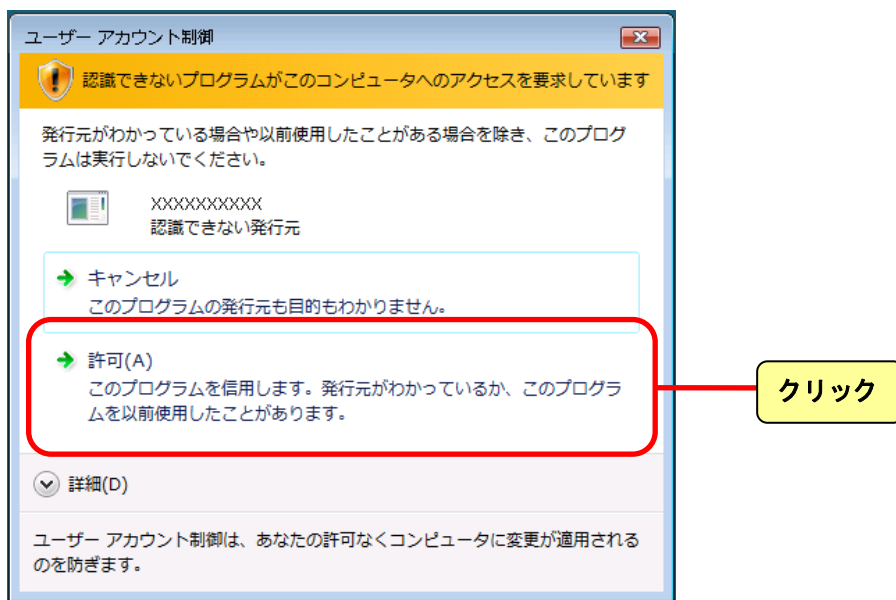
IPN-WLAN は、802.11 のセキュリティ標準規格である IEEE802.11i と比較し、以下の優れた特徴を持ちます。

- ・ 相互認証時に認証局や Radius サーバを必要とせず、同等のセキュリティレベルを持った無線 LAN 環境を構築・運用することができます。
- ・ データの暗号及び復号に用いる暗号鍵を無線ネットワーク上に流しません。
- ・ 送受信パケット(IEEE802.11 フレーム)を使って相互認証を行います。またデータの暗号及び復号に用いる暗号鍵を管理、更新することができます。

第2章 初期設定

ここでは IPN-W100CB Windows Vista 版ソフトウェアの初期設定について解説します。

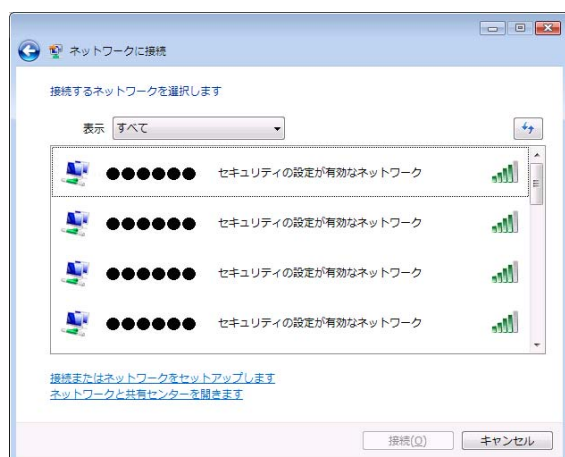
本章で説明する操作中に、以下の画面が表示される場合があります。以下の画面が表示された場合は、[許可]をクリックし、処理を続行して下さい。



2. 1 ネットワーク接続の初期設定

IPN-W100CB Windows Vista 版ソフトウェアをインストールした後は、アダプタをパソコンに取り付けてから、Windows の[スタート]メニュー → [接続先] をクリックし、「ネットワークに接続」画面を起動してください。

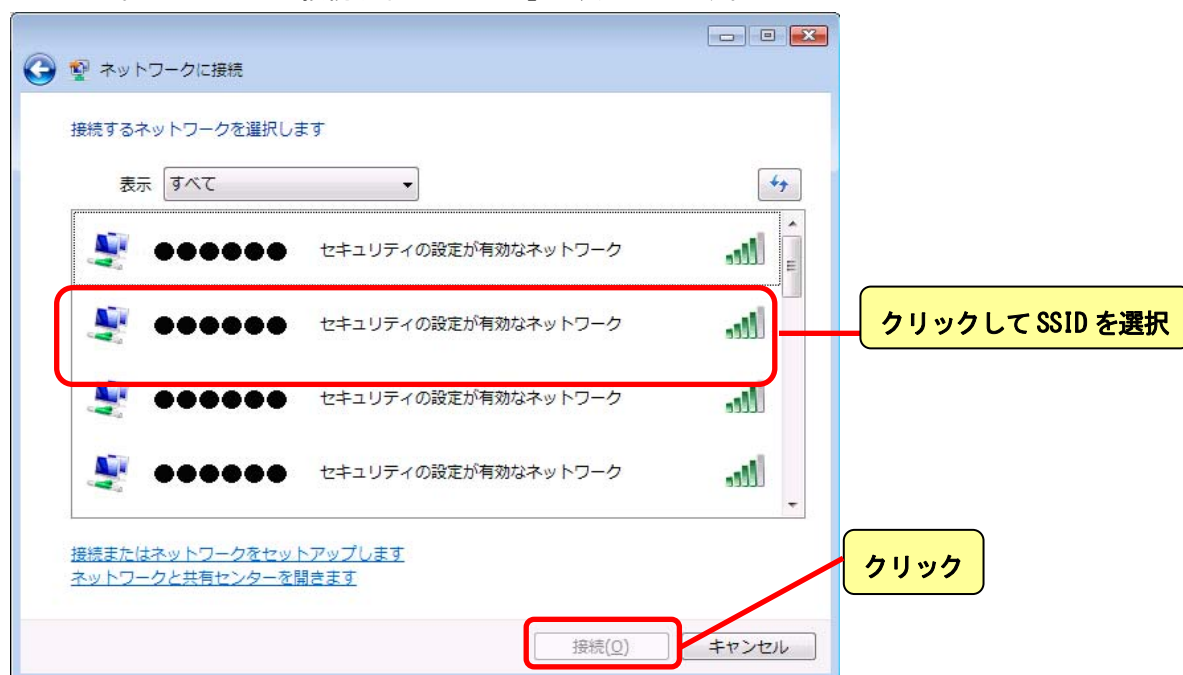
※ Windows の [スタート]メニューに[接続先]項目が表示されていない場合は、[ネットワーク] → [ネットワークと共有センター] → [ネットワークに接続] または[コントロールパネル] → [ネットワークと共有センター] → [ネットワークに接続] をクリックして、「ネットワークに接続」画面を起動して下さい。



ここでの手順は、初回接続時などの「接続プロファイル」がシステム上に保存されていない場合の手順です。2回目以降の接続時など、「接続プロファイル」がシステム上に既に保存されている場合の設定方法については、「第3章 設定」をご覧ください。

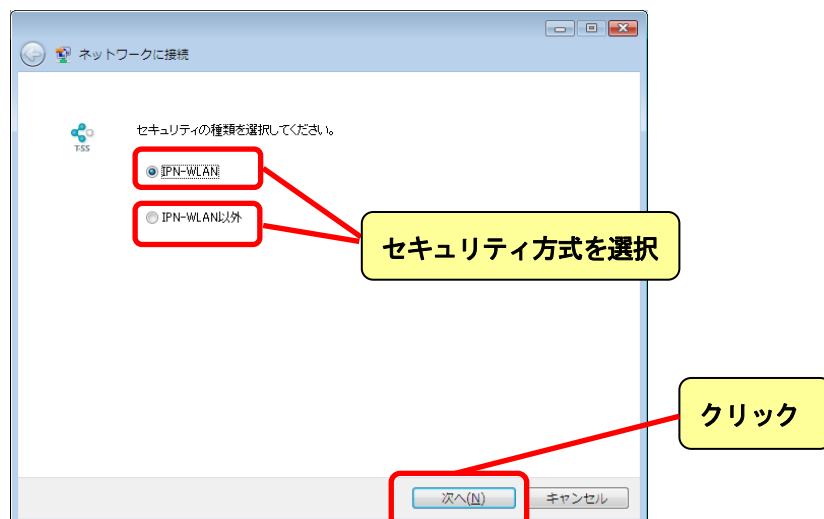
2. 2 IPN-WLAN接続ウィザード画面

「ネットワークに接続」画面で、接続したいアクセスポイントの SSID を選択してから、[接続]をクリックしてください。「IPN-WLAN 接続ウィザード画面」が表示されます。

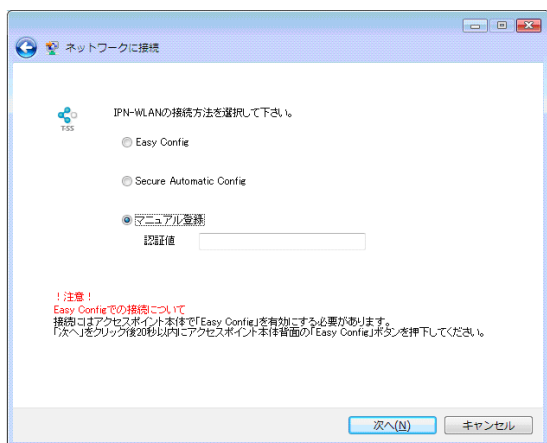


- ※ 2 回目以降の接続時など、「接続プロファイル」がシステム上に既に保存されている場合は、「IPN-WLAN 接続ウィザード画面」は表示されません。「接続プロファイル」がシステム上に既に保存されている場合の設定方法につきましては、「第3章 設定」をご覧ください。
- ※ アドホックネットワークに接続する場合は、「IPN-WLAN 接続ウィザード画面」は表示されません。
- ※ 接続プロファイルを手動で作成して接続を行う場合の設定方法につきましては、「第3章 設定」をご覧ください。

「IPN-WLAN 接続ウィザード画面」の最初の画面は、セキュリティの種類選択する画面です。
セキュリティの種類が IPN-WLAN に設定されている AP に接続する場合は、[IPN-WLAN] を選択してから[次へ] をクリックして下さい。
セキュリティの種類が IPN-WLAN 以外に設定されている AP に接続する場合は、[IPN-WLAN 以外]を選択してから [次へ] をクリックして下さい。



セキュリティの種類選択画面で[IPN-WLAN]を選択した場合に、IPN-WLAN の接続方法選択画面が表示されます。



IPN-WLAN モードで無線 LAN 接続を設定する方法は、以下の 3 種類があります。

1. 「Easy Config」モードを使用して接続する方法
2. 「Secure Automatic Config」モードを使用して接続する方法
3. 認証値を手動で入力する方法(認証値マニュアル登録)

以下、それぞれの方法での接続手順について説明します。

2. 2. 1 「Easy Config」モードを使用して接続する方法

ここでは、IPN-WLAN で最初に無線 LAN 接続を設定する方法に「Easy Config」モードを使用して接続する手順について説明します。



< 注意 >

Easy Config モードを使用するには、弊社製アクセスポイントの管理 Web ページ上で、Easy Config 機能を有効にする必要があります。(デフォルトの設定では Easy Config 機能は無効になっています)

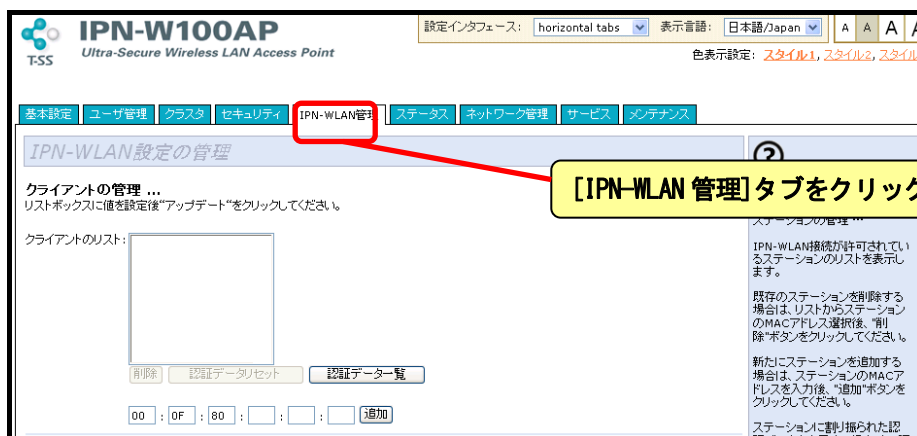


< 注意 >

設定する際、弊社製アクセスポイントと他の無線クライアントの通信が一時的に切断されます。そのため、事前に他の無線クライアントが通信をしていない事を確認の上で設定を行ってください。

アクセスポイントの設定

1. 管理 Web ページの[IPN-WLAN 管理]タブをクリックし、「IPN-WLAN 管理」ページを表示します。



2. 「Easy Config/Secure Automatic Config 有効時間の設定」で任意の秒数を入力します。有効時間には 60 秒以上を設定する事を推奨します。

Easy Config/Secure Automatic Config有効時間の設定 ...

テキストボックスに値を入力後“アップデート”をクリックしてください。

有効時間: 秒

有効時間に任意の秒数を入力

※ 有効時間とは、本製品(クライアントアダプタ)から弊社製アクセスポイントへ接続の追加要求があつてから、弊社製アクセスポイント背面の[Easy Config](Reset)ボタンを押すまでの待ち受け時間を設定します。



< 注意 >

有効時間が「0 秒」の場合、Easy Config モードは無効となります。デフォルトの設定は 0 秒になっています。

3. 「IPN-WLAN 管理」ページの下部にある[アップデート]ボタンをクリックします。

Secure Automatic Configモードの設定 ...

「有効」または「無効」を選択後“アップデート”をクリックしてください。

☐ 有効 ☒ 無効

Secure Automatic Config用クライアントの設定 ...

テキストボックスに値を設定後“アップデート”をクリックしてください。

クライアント: : : : : :

[アップデート]ボタンをクリック



< 注意 >

[アップデート] ボタンをクリックすると画面を更新するので、終了するまでしばらくお待ちください。画面の更新が終了する前に他の画面に映った場合、設定した内容が無効になります。

以上でアクセスポイントの設定は終了です。

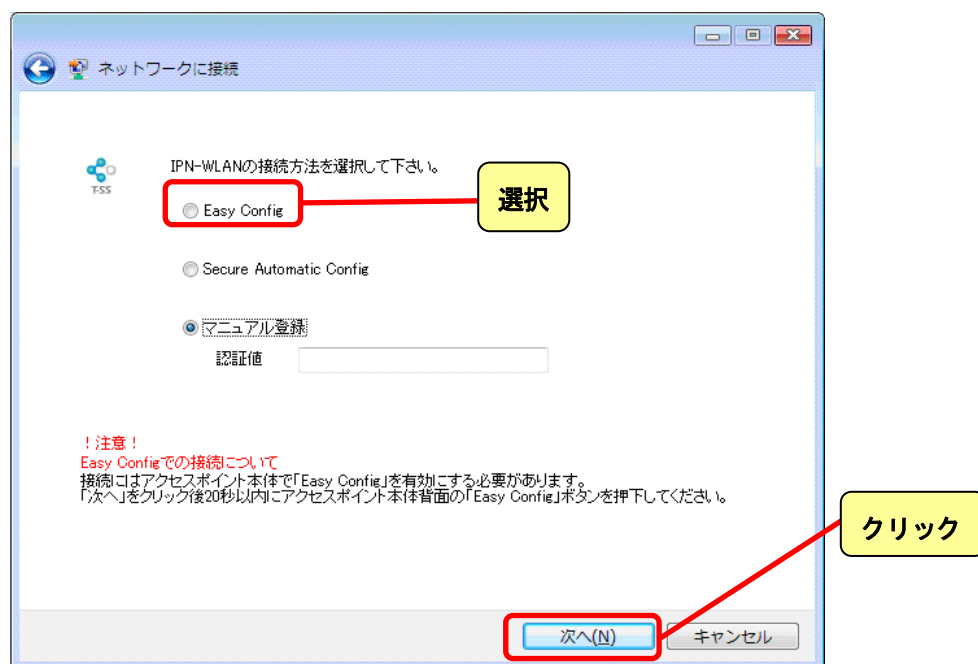
クライアントの設定

クライアントの設定をする前に以下の項目を確認します。

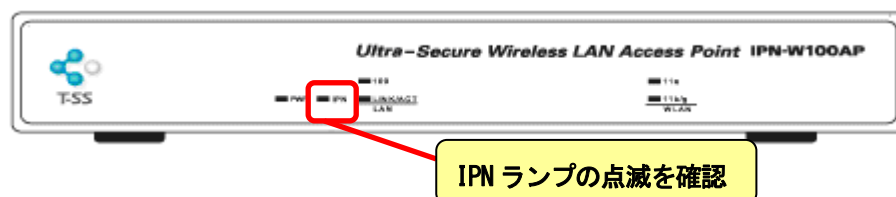
- ・ 接続したいアクセスポイントの SSID

以下の設定は、本製品(クライアントアダプタ)をセットし、ソフトウェアがインストール済みのパソコンで行います。

1. IPN-WLAN の接続方法選択画面で「Easy Config」を選択し、[次へ]をクリックします。



2. 弊社製アクセスポイントの前面の「IPN」ランプが点滅していることを確認します。



3. 弊社製アクセスポイント背面の [Easy Config](Reset) ボタンを前面の「IPN」ランプが点滅から消灯または点灯に変わるまで(およそ 2~3 秒)押します。



< 注意 >

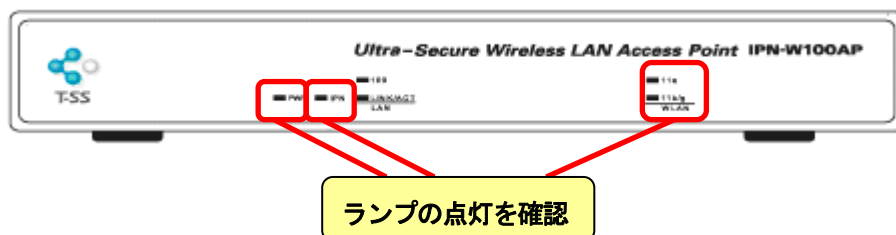
[Easy Config] (Reset) ボタンを長く押しすぎると、Easy Config 機能ではなくリセット機能が有効になり、本体の設定が工場出荷設定に戻ってしまいます。そのため、「IPN」ランプが点滅から消灯または点灯に変わったら、速やかに [Easy Config] (Reset) ボタンから手を離してください。



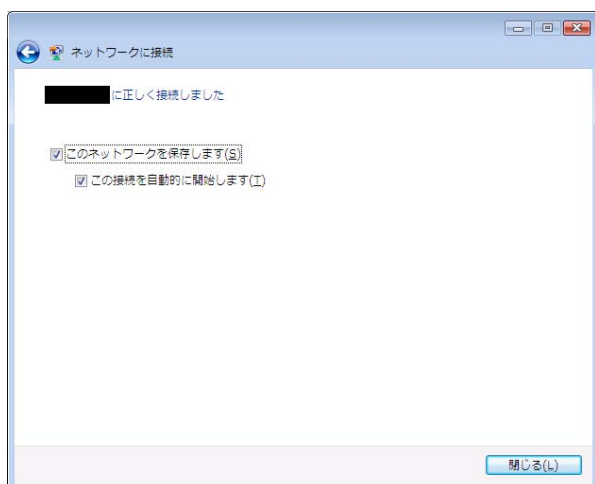
< 注意 >

「IPN」ランプが点滅を開始した後、20 秒以内に [Easy Config] (Reset) ボタンを押してください。

4. 弊社製アクセスポイント前面の「PWR ランプ」、「IPN ランプ」、「WLAN(11a または 11b/g ランプ)」が点灯すると登録が終了です。



5. パソコンの画面に以下の画面が表示され、接続が出来ている事を確認します。



以上でクライアントの設定は終了です。

2. 2. 2 「Secure Automatic Config」モードを使用して接続する方法

ここでは、IPN-WLAN で最初に無線 LAN 接続を設定する方法に「Secure Automatic Config」モードを使用して接続する手順について説明します。



＜注意＞

Secure Automatic Config モードを使用するには、弊社製アクセスポイントの管理 Web ページ上で Secure Automatic Config 機能を有効にする必要があります。(デフォルトの設定では Secure Automatic Config 機能は無効になっています)

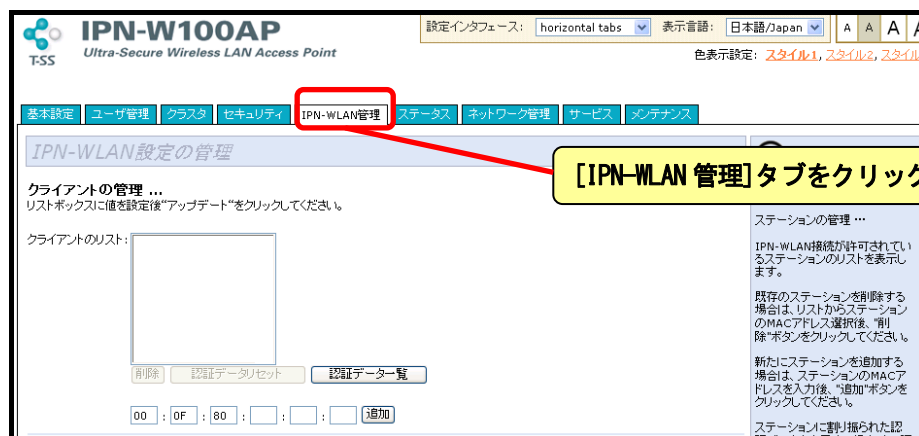


＜注意＞

設定する際、弊社製アクセスポイントと他の無線クライアントの通信が一時的に切断されます。そのため、事前に他の無線クライアントが通信をしていない事を確認の上で設定を行ってください。

アクセスポイントの設定

1. 管理 Web ページの[IPN-WLAN 管理]タブをクリックし、「IPN-WLAN 管理」ページを表示します。



2. 「Easy Config/Secure Automatic Config 有効時間の設定」で任意の秒数を入力します。有効時間には 60 秒以上を設定する事を推奨します。

Easy Config/Secure Automatic Config有効時間の設定 ...

テキストボックスに値を入力後“アップデート”をクリックしてください。

有効時間: 秒

有効時間に任意の秒数を入力



< 注意 >

有効時間が「0 秒」の場合、Secure Automatic Config モードは無効となります。デフォルトの設定は 0 秒になっています。

3. 「Secure Automatic Config モードの設定」で[有効] を選択します。

Secure Automatic Configモードの設定 ...

「有効」または「無効」を選択後“アップデート”をクリックしてください。

☒ 有効 ☐ 無効

「有効」を選択



< 注意 >

「Secure Automatic Config モードの設定」で[有効]を選択しても、「Easy Config/Secure Automatic Config 有効時間の設定」が「0 秒」の場合、Secure Automatic Config モードは無効となります。

4. 「Secure Automatic Config 用クライアントの設定」画面で、本製品(クライアントアダプタ)の MAC アドレスを入力し、[アップデート]ボタンをクリックします。

Secure Automatic Config用クライアントの設定 ...

テキストボックスに値を設定後“アップデート”をクリックしてください。

クライアント: : : : : :

MAC アドレスを入力

クリック



< 注意 >

[アップデート] ボタンをクリックすると画面を更新するので、終了するまでしばらくお待ちください。
画面の更新が終了する前に他の画面に映った場合、設定した内容が無効になります。

以上でアクセスポイントの設定は終了です。

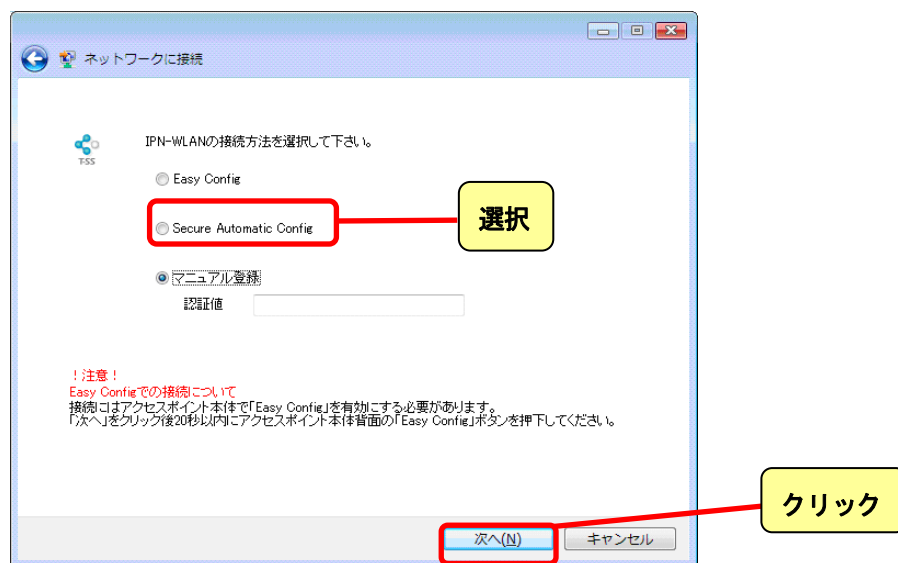
クライアントの設定

クライアントの設定をする前に以下の項目を確認します。

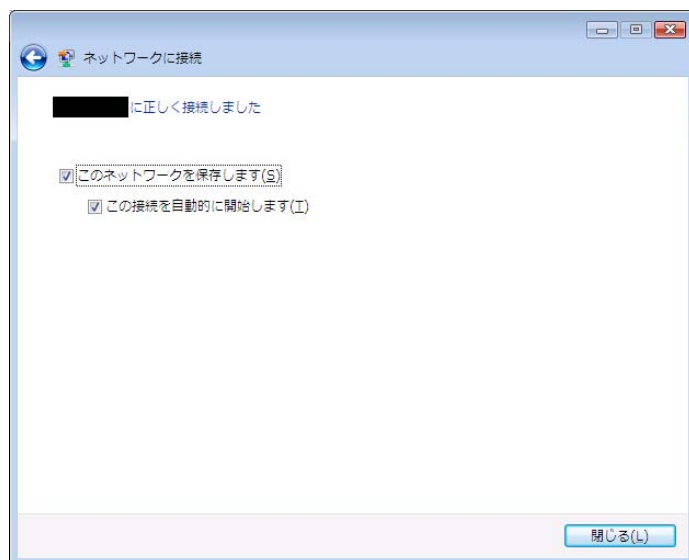
- ・ 接続したいアクセスポイントの SSID

以下の設定は、本製品(クライアントアダプタ)をセットし、ソフトウェアがインストール済みのパソコンで行います。

1. IPN-WLAN の接続方法選択画面で「Secure Automatic Config」を選択し、[次へ]をクリックします。



2. パソコンの画面に以下の画面が表示され、接続が出来ている事を確認します。



以上でクライアントの設定は終了です。

2. 2. 3 認証値を手動で入力する方法

ここでは、IPN-WLAN で最初に無線 LAN 接続する方法に、認証値を手入力する方法で接続する手順について説明します。



＜注意＞

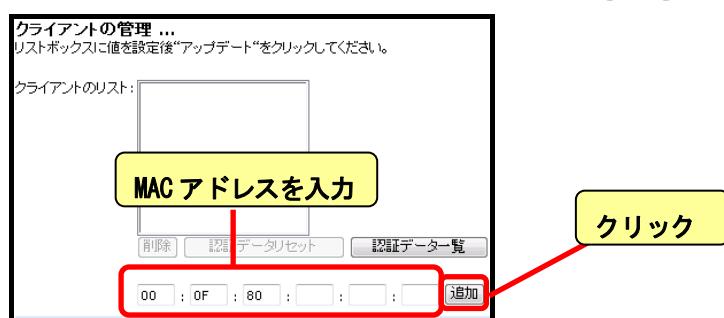
設定する際、弊社製アクセスポイントと他の無線クライアントの通信が一時的に切断されます。そのため、事前に他の無線クライアントが通信をしていない事を確認の上で設定を行ってください。

アクセスポイントの設定

1. 管理 Web ページの[IPN-WLAN 管理]タブをクリックし、「IPN-WLAN 管理」ページを表示します。



2. 「クライアントの管理」で、弊社製アクセスポイントと IPN-WLAN モードで通信させる、本製品（クライアントアダプタ）の MAC アドレスを入力し[追加]ボタンをクリックします。



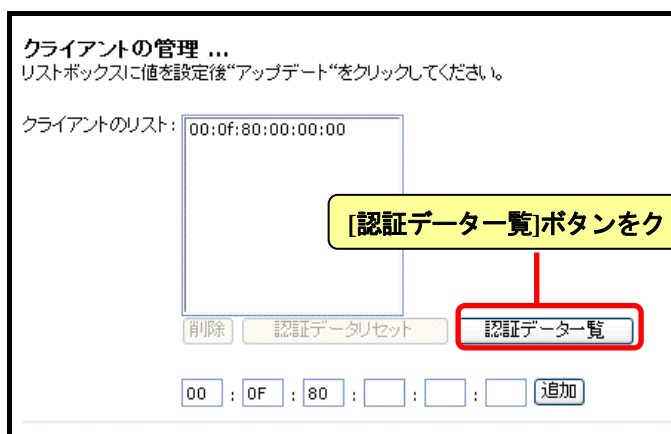
3. クライアントを追加の確認画面が表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。「クライアントのリスト」にMACアドレスが追加されます。



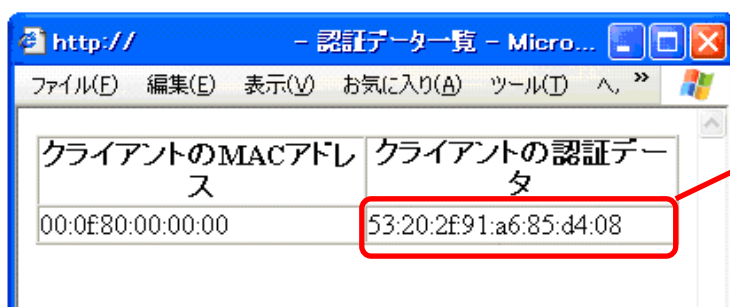
< 注意 >

[アップデート] ボタンをクリックすると画面を更新するので、終了するまでしばらくお待ちください。画面の更新が終了する前に他の画面に映った場合、設定した内容が無効になります。

4. クライアントの MAC アドレスが追加された後に、[認証データ一覧]ボタンをクリックすると、「認証データ一覧」画面が表示されます。



5. 「認証データ一覧」画面で、追加した MAC アドレスの「クライアントの認証データ」をメモに控えます。



< 注意 >

ここでメモに控えた「クライアントの認証データ」は、クライアントの設定時に使用します。

以上でアクセスポイントの設定は終了です。

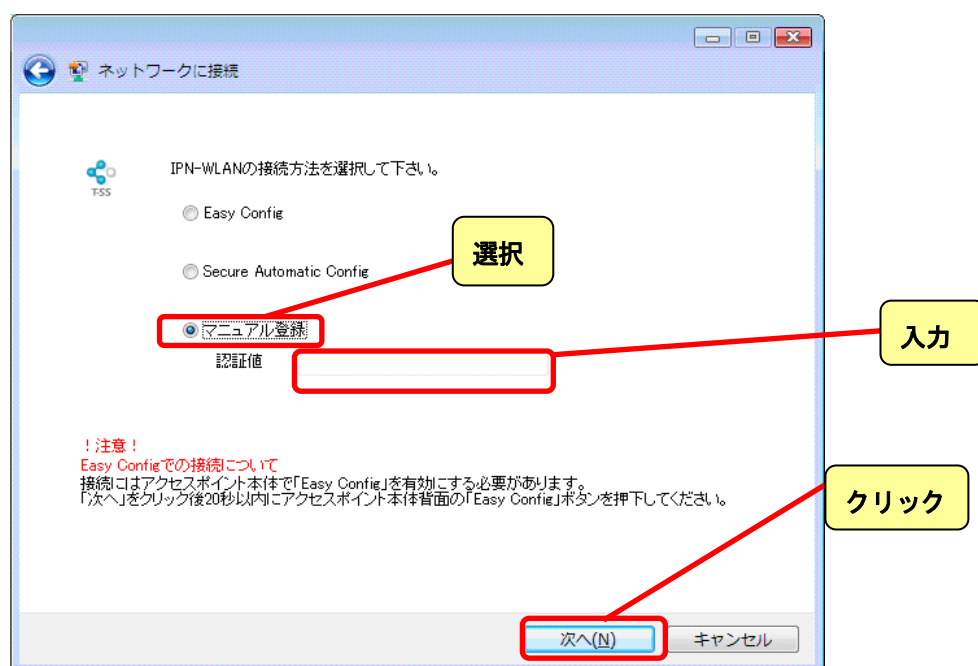
クライアントの設定

クライアントの設定をする前に以下の項目が揃っているか確認します。

- ・ 接続したいアクセスポイントの SSID
- ・ クライアントの認証データ

以下の設定は、本製品(クライアントアダプタ)をセットし、ソフトウェアがインストール済みのパソコンで行います。

1. IPN-WLAN の接続方法選択画面で「マニュアル登録」を選択した後、「認証値」欄に弊社製アクセスポイントの設定時にメモに控えた「クライアントの認証データ」を入力し、[次へ]をクリックします。



< 注意 >

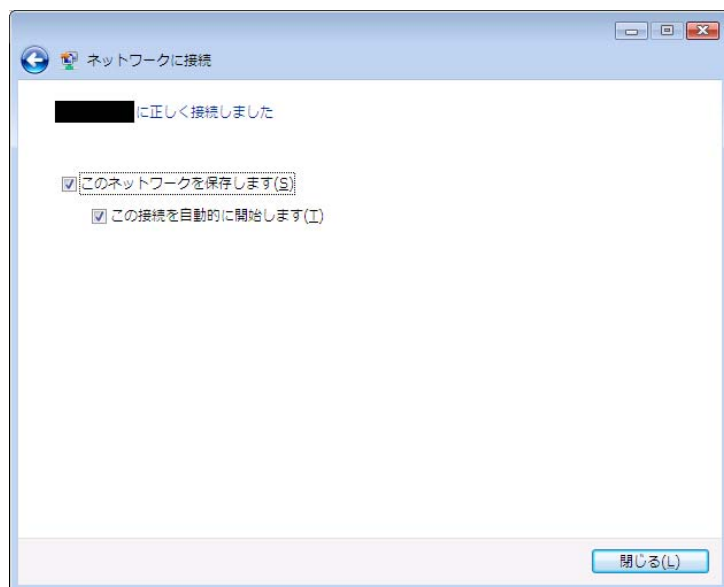
「クライアントの認証データ」を入力する際には、以下の書式のいずれかで入力して下さい。

(例) 「クライアントの認証データ」が “53:20:2f:91:a6:85:d4:08” の場合

- ・ 「53:20:2f:91:a6:85:d4:08」
- ・ 「53:20:2F:91:A6:85:D4:08」
- ・ 「53202f91a685d408」
- ・ 「53202F91A685D408」

(上記例のいずれも、鍵括弧は入力しません)

2. パソコンの画面に以下の画面が表示され、接続が出来ている事を確認します。



以上でクライアントの設定は終了です。

2. 2. 4 IPN-WLAN以外の接続方法選択

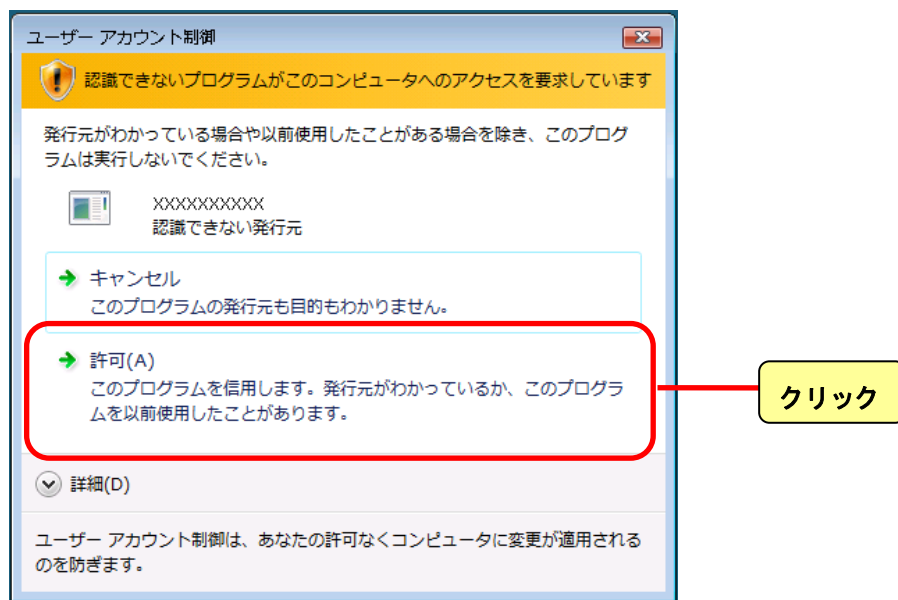
セキュリティ方式選択画面で[IPN-WLAN 以外]を選択した場合は、Windows Vista 標準のウィザード画面で接続設定を行います。

操作方法につきましては、Windows のヘルプファイルをご覧になるか、OS をご購入になった販売代理店もしくはマイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

第3章 設定

ここでは、IPN-W100CB Windows Vista 版ソフトウェアの設定操作について解説します。

本章の説明の操作中に、以下の画面が表示される場合があります。以下の画面が表示された場合は、[許可]をクリックし、処理を続行して下さい。



3. 1 ワイヤレスネットワークのプロパティ画面の機能拡張

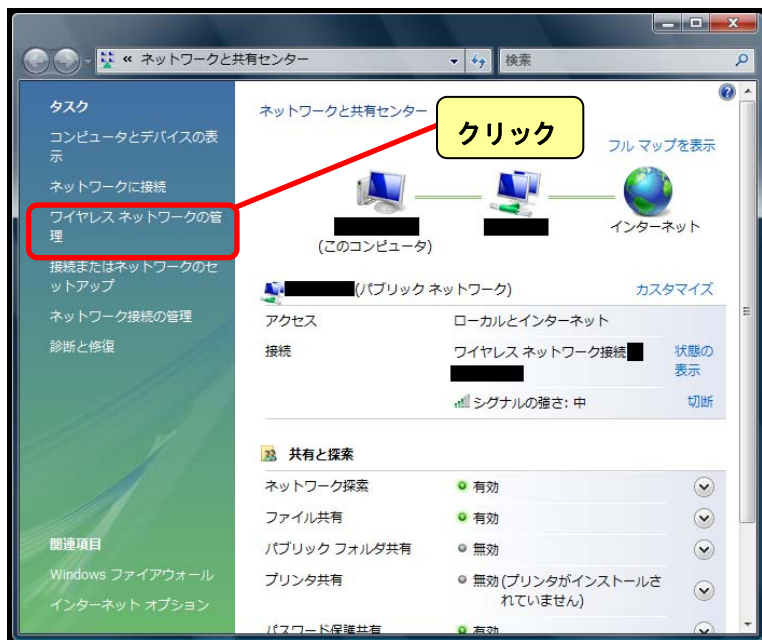
本製品(クライアントアダプタ)をセットし、ソフトウェアをインストールすると、本製品を対象とした「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面の「セキュリティ」タブに弊社独自機能に関する拡張が行われます。

3. 1. 1 「セキュリティ」タブの表示方法

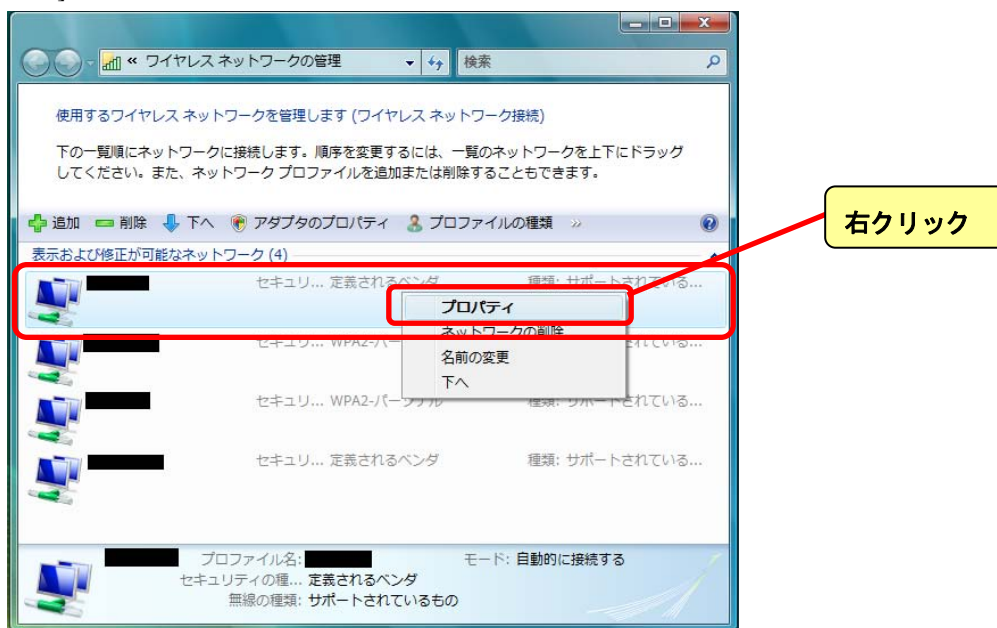
「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面の「セキュリティ」タブを表示するには、以下の様に操作して下さい。

1. Windows の [スタート]メニュー → [ネットワーク] → [ネットワークと共有センター] または[コントロールパネル] → [ネットワークと共有センター]をクリックして、「ネットワークと共有センター」画面を起動して下さい。

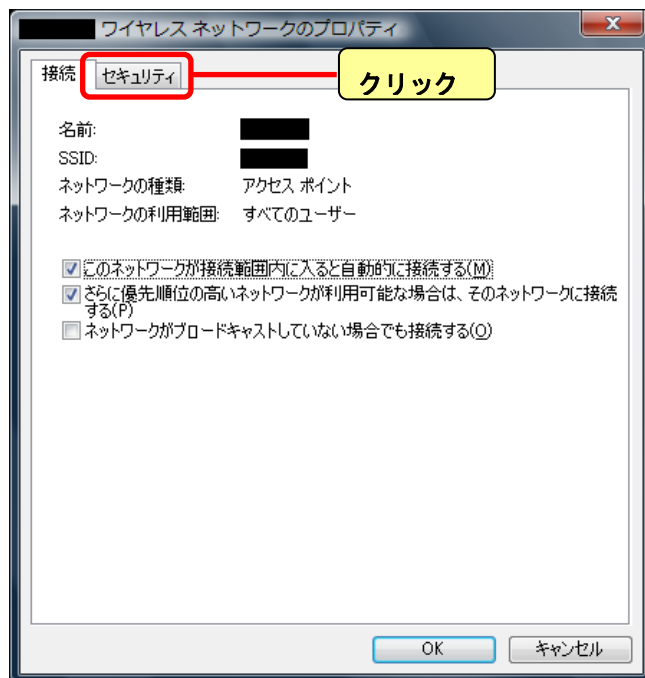
2. 「ネットワークと共有センター」画面で、[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックし、「ワイヤレス ネットワークの管理」画面を起動して下さい。



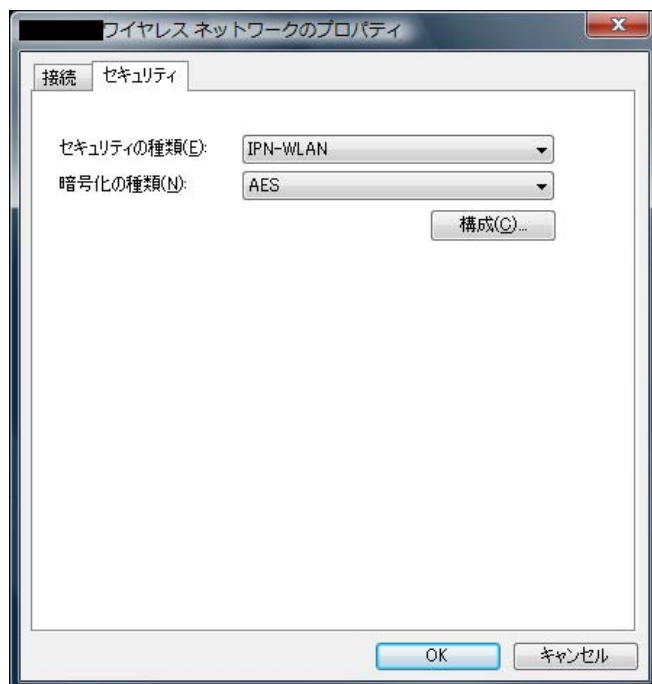
3. 「ワイヤレス ネットワークの管理」画面で接続プロファイルを選択した状態で右クリックし、[プロパティ]を選択して下さい。



4. 「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面で[セキュリティ]タブを選択して下さい。



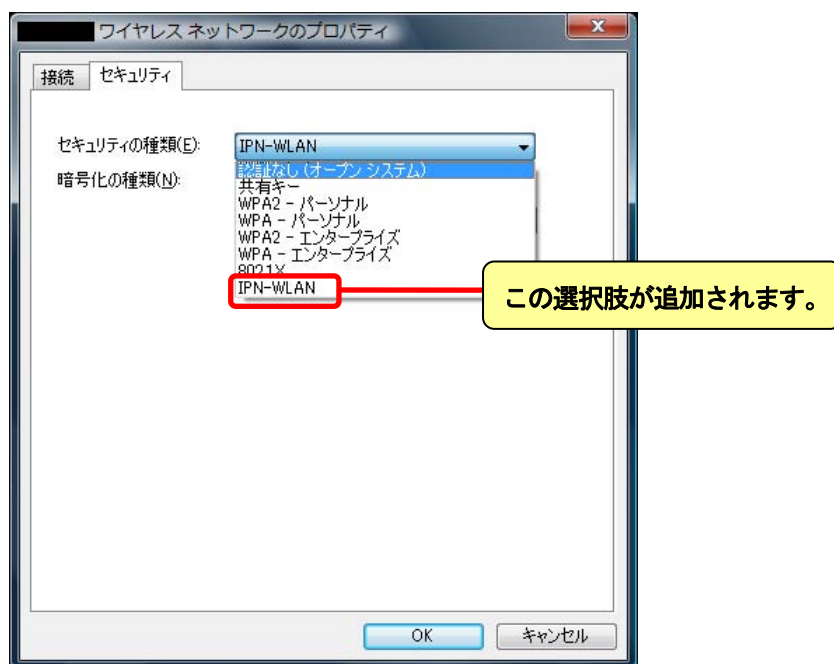
5. 「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面で[セキュリティ]タブが表示されます。



上記手順以外にも、「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面を表示する方法があります。詳しくは、Windows のヘルプファイルをご覧になるか、OS をご購入になった販売代理店もしくはマイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

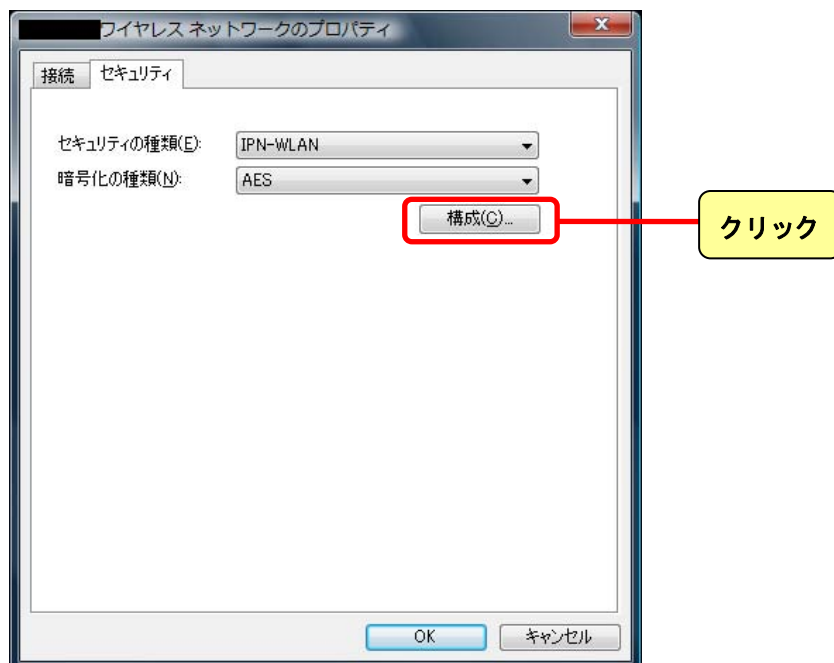
3. 1. 2 「セキュリティ」タブに関する機能拡張

本製品の機能拡張により、「セキュリティの種類」の選択肢に、「IPN-WLAN」選択肢が追加されます。



また、「セキュリティの種類」で「IPN-WLAN」を選択した場合に、「暗号化の種類」の選択肢として、「AES」が表示され、[構成]ボタンが表示されます。

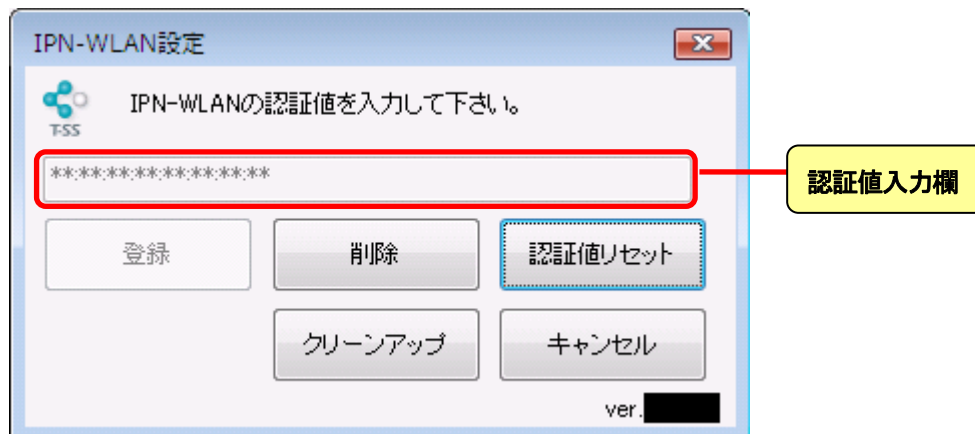
次節では[構成]ボタンをクリックすることにより表示される設定画面について説明します。



※ 「セキュリティの種類」で「IPN-WLAN」を選択した場合に、「暗号化の種類」を「AES」以外に設定する事は出来ません。

3. 1. 3 IPN-WLAN設定画面

「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面の「セキュリティ」タブで「セキュリティの種類」に「IPN-WLAN」を選択し、[構成]ボタンをクリックすることにより、「IPN-WLAN 設定」画面が表示されます。



以下、「IPN-WLAN 設定」画面での設定操作について説明します。

3. 1. 3. 1 認証値登録

IPN-WLAN の認証値を手入力し登録する機能です。

認証値登録を行う場合は、認証値入力欄にアクセスポイントに登録された「クライアントの認証データ」を入力し、[登録]ボタンを押してください。



< 注意 >

「クライアントの認証データ」を入力する際には、以下の書式のいずれかで入力して下さい。

(例) 「クライアントの認証データ」が “53:20:2f:91:a6:85:d4:08” の場合

- ・ 「53:20:2f:91:a6:85:d4:08」
- ・ 「53:20:2F:91:A6:85:D4:08」
- ・ 「53202f91a685d408」
- ・ 「53202F91A685D408」

(上記例のいずれも、鍵括弧は入力しません)



< 注意 >

設定対象のワイヤレスネットワークプロファイルで指定されているSSIDに対して既に認証データが登録されている場合は、認証データを追加登録したり、上書き登録したりすることは出来ません。認証データを変更する場合は一度認証値削除を行い、再度登録して下さい。
認証値削除については次のページで説明します。



< 注意 >

システムに登録可能な IPN-WLAN の認証値の最大個数は、SSID 20 個分です。

3. 1. 3. 2 認証値削除

IPN-WLAN の認証値を削除する機能です。

設定対象のワイヤレスネットワークプロファイルで指定されている SSID に関する IPN-WLAN の認証データを削除します。

認証値削除を行う場合は、[削除]ボタンをクリックしてください。



< 注意 >

設定対象のワイヤレスネットワークプロファイルで指定されている SSID に対して認証データが登録されていない場合は、認証値削除を行う事は出来ません。

3. 1. 3. 3 認証値リセット

本製品と弊社製アクセスポイント（IPN-W100AP シリーズ）が IPN-WLAN モードで通信を行い、ワンタイムパスワードによって更新された認証値をリセットし初期値に戻す機能です。

認証値リセットを行う場合は、[認証値リセット]ボタンをクリックしてください。



< 注意 >

本製品で認証値リセットを実行した場合は、アクセスポイント側でも認証データのリセットを行う必要があります。
いずれか一方だけで認証データリセットを行うと通信ができなくなります。

3. 1. 3. 4 認証値クリーンアップ

「T-SS 認証値クリーンアップユーティリティ」を起動し、利用されなくなった IPN-WLAN の認証値をクリアします。



< 注意 >

システムに登録可能な IPN-WLAN の認証値の最大個数は、SSID 20 個分です。

「T-SS 認証値クリーンアップユーティリティ」につきましては、「3. 2 T-SS 認証値クリーンアップユーティリティ」をご覧ください。

認証値クリーンアップを行う場合は、[クリーンアップ]ボタンをクリックしてください。

3. 1. 3. 5 キャンセル

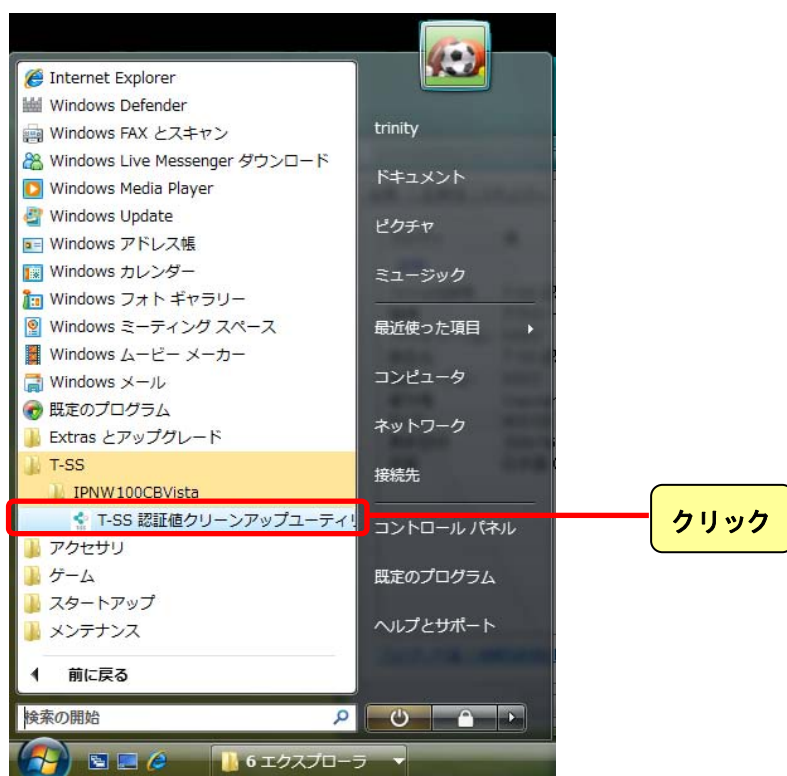
[キャンセル]ボタンをクリックすると、「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面の「セキュリティ」タブに戻ります。

3. 2 T-SS 認証値クリーンアップユーティリティー

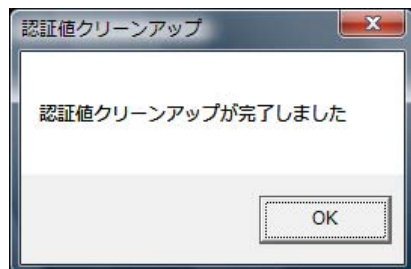
システム内の全てのワイヤレスネットワークのプロファイルを調査し、プロファイルにないSSID に対する IPN-WLAN の認証データが登録されている場合に、その認証データを削除するユーティリティープログラムです。

以下の説明では、本ユーティリティーの実行手順について説明します。

1. Windows の[スタート]メニュー → [すべてのプログラム] → [T-SS] → [IPNW100CBVista] → [T-SS 認証値クリーンアップユーティリティー] を選択します。



2. クリーンアップが完了すると、完了画面が表示されます。



以上で、認証値クリーンアップは完了です。

付録A 保守サポートについて

ここでは、保守サポートについて解説します。

A.1 保守サポート窓口

A.1.1 サポート窓口に連絡するときには

どうしても不具合の原因が解らない時や、元の状態に戻せない時は、お買い上げの販売店又は、弊社 IPN テクニカルサポートへ連絡ください。

ご連絡いただく際には、事前に次の事を確認して伝えられるようにしておいてください。

- ・ 本製品のソフトウェアバージョン
- ・ 発生日時
- ・ 現象（何をしているときに何が起こったか）

A.1.2 サポート窓口

●保守契約の登録内容の変更、加入証書の再発行

株式会社トリニティーセキュリティーシステムズ

IPN 保守契約窓口

TEL : 03-5835-2329 FAX : 03-5835-0235

メールアドレス : ipn-ma@trinity-ss.com

受付時間 : 9:30～17:00 (12:00～13:00 を除く)

月曜日～金曜日 (土・日・祝祭日、当社の休日を除く)

住所 : 〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-7-8 アルテビル東神田 8F

●技術的なお問い合わせ、本製品に関するお問い合わせ

株式会社トリニティーセキュリティーシステムズ

IPN テクニカルサポート

TEL : 03-5835-0286 FAX : 03-5835-0235

メールアドレス : ipn-support@trinity-ss.com

受付時間 : 9:30～17:00 (12:00～13:00 を除く)

月曜日～金曜日 (土・日・祝祭日、当社の休日を除く)

住所 : 〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-7-8 アルテビル東神田 8F

IPN-W100CB Windows Vista 版ソフトウェア 取扱説明書

2008 年 8 月 5 日 第 1 版発行

発行所 株式会社トリニティーセキュリティーシステムズ

© 2008 Trinity Security Systems, Inc. All Rights Reserved.
